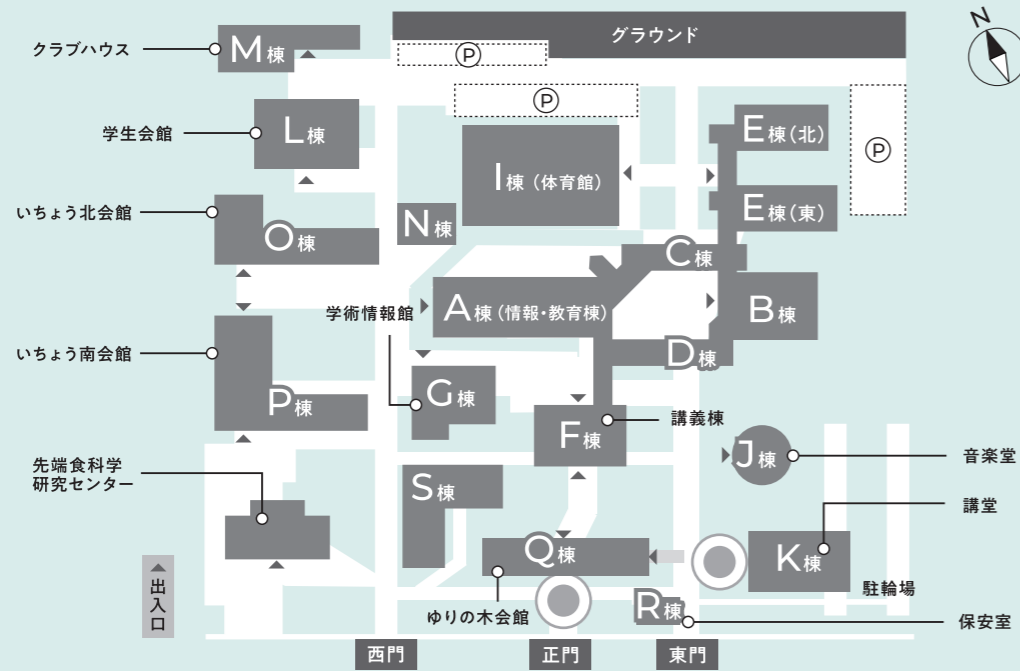
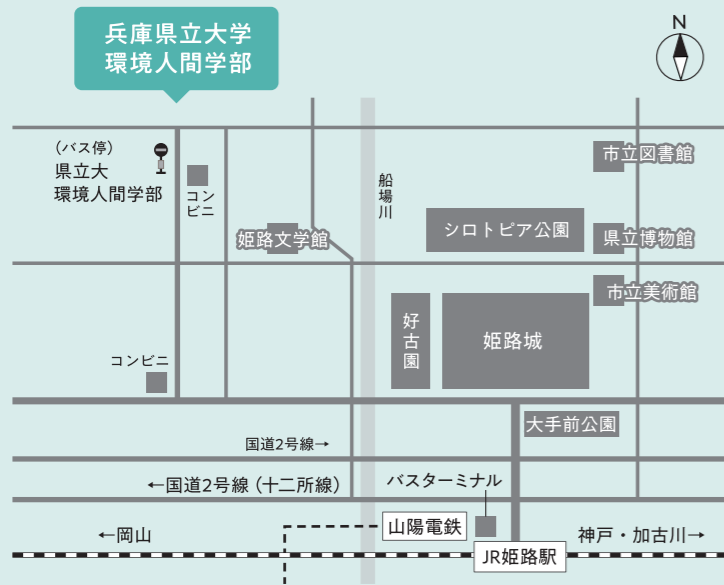


CAMPUS MAP



ACCESS



姫路環境人間キャンパス
〒670-0092 兵庫県姫路市新在家本町1-1-12

交通 アクセス

JR・山陽電鉄 姫路駅北口より神姫バス 220円
9番乗り場 西高前・田寺北口行等 /
10番乗り場 姫路高校前・書写山ロープウェイ行等
【乗車時間約10分】
「県立大環境人間学部」下車すぐ

2023 CAMPUS GUIDE

人間形成系 | 国際文化系 | 社会デザイン系 | 環境デザイン系 | 食環境栄養課程



変わりゆく世界へ
動き出せ、
あたらしい私。

Info

環境人間学部の
“今”がわかる
学部サイトや
公式SNSをチェック!

学部サイト



Twitter



YouTubeチャンネル



兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学 環境人間学部

☎ 079-292-1513(直) ☎ 079-292-1530 (FAX) ✉ gakumu@shse.u-hyogo.ac.jp

生物地球化学 | 伊藤 雅之 准教授



01

人間活動の地域・地球環境への影響を解明する

自然環境の急速な変化には人間活動が関わっています。熱帯林の伐採やその後の植林地化、化石燃料の大量使用による温室効果ガス排出などその影響がますます大きくなる中で、森林や湿地、湖など様々な生態系において、水や炭素などの循環メカニズムを詳細に観測し、人間活動の影響解明に繋がる研究を行っています。兵庫県内では、日本で最も数が多い“ため池”が、地域環境や社会に及ぼす影響について調査しています。

大気科学 / 応用気象学 | 奥 勇一郎 准教授



02

気候変動による地域気象の変化を把握し、備える

地球温暖化により変わりつつある地域の気象・気候、皆さんもその変化を日々の天気から肌で感じているのではないのでしょうか。持続可能な社会の実現には気象・気候の変化に適応することが求められています。台風、大雨、猛暑など様々な時空間スケールの現象を数値シミュレーションを用いて再現、予測、解析し、気候変動による地域への影響を私たちの暮らしの目線から調べています。私たちとともに地域の未来の天気図を描いてみませんか？

環境経済学 | 中 嶋 一 憲 教授



03

環境と経済のジレンマをいかに克服するか

日本において気候変動に伴う自然災害の激甚化が懸念されていますが、このような気候変動リスクに対して、社会がどのように対応すべきかを検討するために、気候変動による経済的なリスクを見積もる必要があります。具体的には、環境保全と経済成長を両立するために、市場価格のない自然環境の経済的価値を計測しながら、今何が起きているのか、将来何が起こり得るのか、そして、どのような対策が効果的なのかについて研究を行っています。

Sustainability



サステナビリティ 編

環境人間学部 × SDGs

ここではSDGs達成のために不可欠な複眼的な視点から、環境・社会・経済の持続性(サステナビリティ)向上をめざす本学部の教員の研究事例をいくつか紹介しましょう。

＼特設サイト／

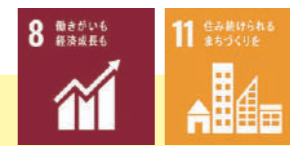
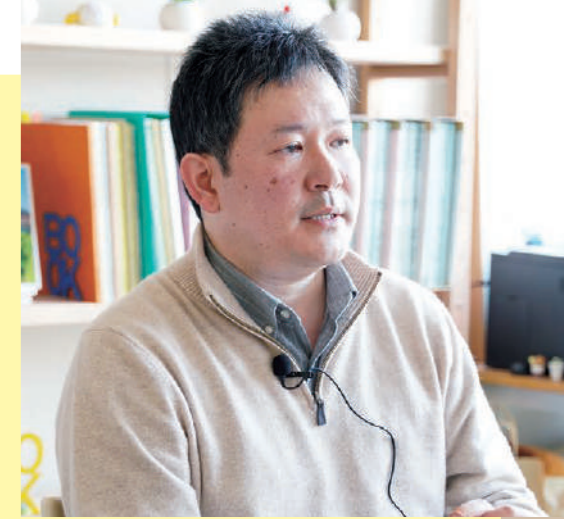


環境と人間の暮らしを探索する環境人間学部。その目指すところは「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に定められた17のゴール(SDGs)と大きく重なっています。

＼特集動画／



人文地理学 / 地域コミュニティ論 | 杉山 武志 准教授



04

わかちあう経済をみんなで学びあい、探究する

人文地理学を基盤に、地域コミュニティ研究と地域コミュニティを支える都市・地域政策を研究しています。なかでも私たちの身近な暮らしに関わるローカルなコミュニティ経済を次世代につないでいくために、生業を営む人たちが地域の未来を互いに学びあい、共生と連帯の精神を育みあえる環境をどのように創造する必要があるのか探究しています。地域の人たち、行政の方々と一緒に、わかちあいの経済をみんなで学びあっていきましょう！

環境政策 | 増原 直樹 准教授



05

SDGsゴール間のつながりを把握し複数課題の同時解決をめざす

環境政策論の視点を中心に、SDGsの特徴であるゴール間のシナジー(相乗効果)やトレードオフ(二律背反)の解明をめざし、水・エネルギー・気候変動などを題材にゴール間のつながりを把握しつつ、どのような状況でトレードオフが起きるかについて研究しています。逆に、環境と経済、環境と社会といった課題解決を両立するシナジーを生む政策、さらに脱炭素地域づくりを兵庫県、京都府等のフィールドにおいて実践的に提案しています。

防災心理学 / 防災教育学 | 木村 玲欧 教授



06

災害が起こる前までに人々や社会をいかに強くするか

災害・防災について、心理学・行動科学の立場から研究しています。被災者へのアンケート・インタビュー調査をもとに日常とは異なる災害時の心理・行動の特徴を明らかにしたり、被災地の復興支援をしたり、歴史災害を掘り起こして幼保小中高等学校の防災教育・訓練プログラムを開発したり、住民や企業の人たちとワークショップを行って地域防災力・組織対応力を向上させたりと、「現場」を大切にしたいアクション・リサーチ研究を行っています。

多文化共生教育 / 国際教育協力 | 乾 美紀 教授



不利な立場にある 子どもたちのために

貧困、マイノリティ、開発途上国など、不利な立場にある子どもたちが平等な教育機会を享受するにはどうすればいいか研究しています。ゼミ生と一緒に姫路や神戸に住む外国人の子どもたちの学習を支援したり、ラオスに学校を建設する活動をしたりして、子どもたちが質の高い教育を受けることにつながる実践を続けています。

福祉社会学 | 竹端 寛 准教授



人間を排除する現代の社会構造を 根本から問う

福祉課題を掘り下げながら、日本社会の「生きづらさ」について研究しています。社会的に排除される人々を「個人の悲劇」と捉えず、排除を生み出す悪循環構造を解き明かすことで、解決すべき社会課題が明確になります。多様性が認められ、インクルーシブな日本社会に変化していくためにも、生産性至上主義の日本社会の歪みを是正し、ケアや支援の豊かな世界の可能性を探る中で、より幸福で公正な社会とは何かを探求しています。

公衆栄養学 | 中出 麻紀子 准教授



若い世代にこそ 健康的な環境と食習慣を

若年成人は未来を担う重要な世代であるにも関わらず、食習慣の乱れが危惧されており、対策も十分ではありません。そこで若年成人を対象とし、健康的な食事や食習慣(例えば朝食摂取、十分な野菜摂取、バランスの良い食事など)の関連要因の研究や、健康的な食事を可能にする食環境整備の研究、心理に着目した行動変容の研究などを行っています。

Inclusion

01



インクルージョン 編

環境人間学部 × SDGS

環境人間学部が大切にするもう一つのキーワードは「世界の全ての人を包摂する」という意味の「インクルージョン」です。自国・他国を問わず、文化・伝統の理解を深めること、人の生活の課題解決・改善に努めることなど、多角的・多面的にアプローチする。本学部の教員の研究事例を見てみましょう。



栄養生理学 / 栄養教育 | 永井 成美 教授



途上国での食育は 現地の人と一緒にしていく

健康につながる食環境づくりや食育について、栄養学、行動科学の観点から研究しています。日本には、食育を担う栄養教諭制度と、世界でトップクラスの質を誇る学校給食がありますが、給食の開始は戦後の子どもの低栄養改善に遡るものでした。今も栄養面で多くの問題を抱える発展途上国での現地調査や関係者との協働作業を通じて、栄養改善につながる食育プログラムや教材、学校給食のあり方などを提案しています。

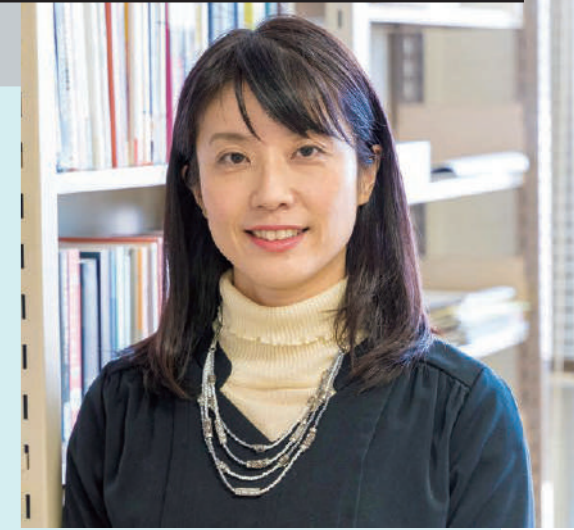
アメリカ文学 / 環境文学 | 高橋 綾子 教授



災害に直面した人々が詠う 詩から何を学ぶべきか

21世紀を生きる私たちは、人間活動の結果生み出された地球規模の気候変動と環境汚染に直面しています。私の専門であるアメリカ文学及び環境文学も、地球規模の環境汚染に対して、危機意識と終末感を顕す文学的言説を通し、環境正義に基づき、その深刻さを読者に伝えていきます。私は日本の災害文学を環境文学の中で捉えなおし世界に伝える教育研究活動をしています。

アメリカ文学 | 柳楽 有里 准教授



マイノリティ文学を通じて 公正の意識を養う

アメリカ文学を研究しています。なかでもアメリカ国内の複雑な差別構造に注目し、アメリカ黒人作家たちが黒人コミュニティ内部の階級・ジェンダーの問題とどのように向き合ってきたのかを研究しています。マイノリティ作家の作品研究は、アメリカに留まらない幅広い文脈において、現代社会のあり方についての示唆を含んでいます。



point
01

全ての人に豊かな暮らしと環境を

私たちが目指すのは、生まれや性別、年齢、所得、国籍などに関わらず、将来世代も含めて、全ての人々が豊かに暮らしていけるようにすること、そのために必要なサステナブルな環境を創造していくことです。このため1年の「人間学」科目を中心とする専門基礎科目を受講し、人間と環境との関わりについて幅広く理解を深め、後の専門的な学習のための土台と目的意識を養っていきます。

point
02

入学してから専門を選べる

人間の暮らしと環境に関わる5つの専門分野があります。多くの大学では入試時点で専門を決めなければならないませんが、高校のうちに自分の関心や適性を見極めるのは容易ではありません。本学部では入試段階では専門を決めず（食環境栄養課程を除く）、1年の間に多様な学問に触れてから2年進級時に専門を選択することができます（系配属）。なお、系には定員があり、選抜が行われる場合があります。

point
03

地域と世界の課題に向き合う

本学部で扱う問題（環境、住まい、福祉、健康等）は、身近な地域でも、また、他の国でも発生しています。身近な地域の課題をしっかりと学び、向き合うことを通して、世界の課題を解決していくための素養を習得していきます。教室での授業に加えて、「環境人間学演習」や「専門ゼミナール」等で、地域の現場で課題を確認したり、その解決策を考えたり、あるいは、地域の方々と一緒に行動したりすることで、地域でも世界でも通用する課題解決力を身につけていきます。

point
04

少人数の「専門ゼミ」「卒業研究」

環境人間学部の学びの要であり、集大成でもあるのが「専門ゼミナール」「卒業研究」です。3年進級時にいずれかの教員の研究室に所属し、専門的な知識技能の習得、実践的な活動、研究などを行い、専門性を深め、課題解決に必要な実践力を磨いていきます。それぞれのゼミ（研究室）が1学年あたり4～5名程度であるため、教員と学生、学生と学生の距離が非常に近く、アットホームな雰囲気なので、自然と学びも深まっていきます。

	1年	2年	3年	4年
学部共通	基礎ゼミナール	環境人間学ゼミナール	point 03 環境人間学演習等 (フィールドワーク)	point 03 point 04 専門ゼミナール
一般	point 01 point 02 point 03 point 04 point 05 point 06 point 07 point 08 point 09 point 10 point 11	point 02 系への配属	point 03 point 04 専門ゼミナール	point 03 point 04 卒業研究
食環境栄養課程			point 03 point 04 卒業研究	point 03 point 04 卒業研究
一般	point 01 point 02 point 03 point 04 point 05 point 06 point 07 point 08 point 09 point 10 point 11	point 02 系への配属	point 03 point 04 専門ゼミナール	point 03 point 04 卒業研究
食環境栄養課程	point 03 point 04 卒業研究	point 03 point 04 卒業研究	point 03 point 04 卒業研究	point 03 point 04 卒業研究

※4つの系には定員を設けており、希望者が多い系の配属では1年次の成績などが考慮されます。
※ゼミ（研究室）には定員があり、希望者が多いゼミの配属では成績などが考慮されます。

人間形成系

あかちゃんから高齢者に至るあらゆる世代の人々の、心身ともに充実した健康的な生活を維持増進し、多様な自己実現のあり方や社会参加が保障される環境づくりを目指します。「健康」「教育」「心理」をキーワードに、生涯発達の見点から多様な「人の育ち・生き方(well-being)」を見つめる力を身につけます。

教員一覧

- 乾 美紀 - 多文化共生教育、国際教育協力
- 井上 靖子 - 臨床心理学、分析心理学
- 内田 勇人 - 公衆衛生学、世代間交流学
- 尾崎 公子 - 教育学、教育政策
- 喜友名 菜織 - 民法学、家族法
- 竹内 和雄 - 生徒指導、子供とネット問題
- 西村 洋平 - 西洋哲学、倫理学
- 野村 健 - 生物物理学、運動生理学
- 福田 厚治 - スポーツバイオメカニクス、トレーニング科学
- 保坂 裕子 - 生涯発達心理学、ナラティブ心理学
- 森 寿仁 - 運動生理学、トレーニング科学
- 山口 裕毅 - 教育哲学、教育思想史

国際文化系

英語をはじめとする語学やそれぞれの言語の文化的背景、国際情勢が生み出す文化現象や多文化社会について学び、社会的なコミュニケーション能力と異なる文化への理解や共感を持てる人材を育成。言語学習と文化・国際理解が特徴で、外国語能力をさらに向上させ、国際理解を促進し、国際問題を検証する力を養います。

教員一覧

- 石倉 和佳 - イギリス文学・文化研究、日本近現代史
- 木本 幸恵 - フィールド言語学、認知言語学
- 小谷 一夫 - オーストラリアの言語文化
- 高橋 綾子 - アメリカ文学・文化、環境文学、アメリカ現代詩
- 鄭 成 - 現代中国史、異文化交流
- 寺西 雅之 - 文体論・コミュニケーション論、英語教育・学習論
- 友繁 義典 - 英語学
- 柳楽 有里 - アメリカ文学・文化研究、第二言語習得
- 元田 與市 - 表現文化論

授業・実習紹介



環境人間学演習Ⅰ (FW)

2年前期に、5名の教員が提示するテーマから興味のあるものを選択します。現場訪問や調査・インタビューなどのフィールドワークを通して、地域・社会課題の現状を把握し、改善方法を議論します。



自然活動実習

カヌー、ヨットなどのマリンスポーツや野外活動を体験するだけでなく、ナイトハイク(夜の林道を五感を頼りに散歩する)など自然環境と人間の関わりについて深く考える2泊3日の実習です。



発達環境論

子育てや友人関係、災害や病いの経験などの具体的な社会実践に基づき、発達心理学の観点から生き方の多様性について学び、これからの社会について、グループワークや発表などを通してともに考えていきます。

授業・実習紹介



環境人間学演習Ⅰ (FW)

アジア、ヨーロッパ、日本など様々な地域における文化事象を学びます。フィールドワークを通じて、兵庫県と海外との関係を中心に、人口移動や移民について、また観光における海外発信について考えます。



イングリッシュ・スタディーズ

グローバル化に対応するため、国際語としての英語の歴史、言語としての英語の仕組み、英語の修辞や様々な英語話者の使う英語についての知識や技術を習得します。



ことばと文化

英語、中国語、ドイツ語といったことばや、ことばによって作られた様々な作品や文化形成について考えます。ことばを基として文化とは何かを考え、人間理解を深めることを目指します。

Pick up ゼミナール

#1

井上靖子ゼミ



臨床心理学

ゼミ紹介動画は
こちらから



夢分析や箱庭療法などを用いた心理療法の実践や、いじめや虐待などのトラウマを抱えた人々、児童養護施設で暮らす子どもらに対する心理臨床的アプローチを研究しています。

#2

森寿仁ゼミ



トレーニング科学

ゼミ紹介動画は
こちらから



トレーニング科学分野を主軸に体力科学、運動生理学、環境生理学的視点から研究。アンケート調査や体力測定を用いてスポーツ健康科学を横断した複合的かつ実践的な研究を実施しています。

Pick up ゼミナール

#1

石倉和佳ゼミ



イギリス文学

ゼミ紹介動画は
こちらから



イギリスロマン主義文学を中心とした英文学研究。どのテーマにおいても、歴史的、社会的な文脈を明らかにし、他分野の関心事を有機的に関連付ける学際的な方法論をとっています。

#2

木本幸恵ゼミ



言語学

ゼミ紹介動画は
こちらから



日常的に用いる「言語」を軸に、コミュニケーションのとり方をその国の文化から紐解いたり、当たり前だと思っていた「言葉遣い」に着目したり、あらゆる視点から深掘りしていきます。

Student Voice 1



人間形成系 4回生
藤田 彩夏さん (芦屋高等学校出身)

好きなことを
好きだけで終わらせない
子どもたちがくれた
学びのきっかけ

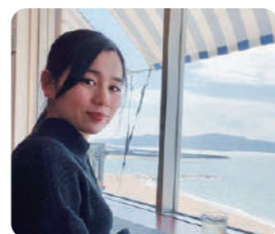


大学生にしかできないことをしたい！子どもが大好き！という思いで学生団体Changeに入りました。Changeでは、主に小学生対象のイベントを企画し、地域の子どもたちと楽しく活動していました。

子どもたちと関わる中で、もっと子どものことや、子どもを取り巻く環境について学びを深めたいと思い、発達心理学の保坂裕子先生のゼミに所属しました。

その後、子ども食堂のボランティアにも参加し、そこで町の人たちの温かさや子どもの居場所の重要性を強く実感しました。今後もボランティアを継続しながら、子ども食堂をフィールドに卒業論文の研究を進める予定です。

Student Voice 1



国際文化系 4回生
萩原 真奈海さん (兵庫県立大学附属高校出身)

英語文体論を学び
観光や異文化理解をめぐる
コミュニケーションを
研究中



ゼミ活動では英語文体論を専攻し、言葉・文体の特徴からテキストを解釈・批評する研究を行っています。3年後半からは京都と東京でフィールドワークを行い、標示や観光案内など様々な観光コミュニケーションを分析しました。

その研究成果を、JAILA(日本国際教養学会)全国大会で発表しました。また、学術交流協定締結を行っているカーティン大学のあるオーストラリアの文化にとっても興味があります。

今後は日本とオーストラリアの観光英語や異文化理解についての比較研究を行い、現在世界で注視されているSDGsの問題解決と絡めて卒業研究にまとめていく予定です。

社会デザイン系

都市や農村、防災や福祉、メディアや観光、環境経済・政策など、私たちの身の回りの生活や暮らしに関わることを探求しています。「社会・コミュニティの変化を的確にとらえる」「多様な人々が対等に暮らせる社会をつくる」の二つを教育理念として掲げています。

- 教員一覧
- 井関 崇博 - 広報・メディア、社会学
 - 江口 善章 - 観光理論、計量経済学
 - 太田 尚孝 - 都市計画、まちづくり
 - 糟屋 美千子 - メディアディスコース研究
 - 木村 玲欧 - 防災心理学、防災教育学
 - 杉山 武志 - 人文地理学、地域コミュニティ論
 - 竹端 寛 - 福祉社会学、社会福祉学
 - 中嶋 一憲 - 環境経済学、環境経済評価
 - 増原 直樹 - 環境政策、地球環境学
 - 三宅 康成 - 農村計画学、都市農村交流論

環境デザイン系

自然環境と生活環境をめぐる時間・空間・社会の特性に関する知識と共に、分析・計画・解析などの技術によって、自然環境を理解し、よりよい生活環境を構築していくための専門知識を学びます。これらの専門知識を基礎とした快適な居住空間、住みやすい人間社会を創造します。

- 教員一覧
- 伊藤 雅之 - 生物地球化学、陸水学
 - 宇高 雄志 - 住居論、景観計画、文化遺産保全
 - 宇野 康司 - 地質学、古地磁気学、岩石磁気学
 - 大橋 瑞江 - 森林科学、生態学、物質循環
 - 奥 勇一郎 - 大気科学、応用気象学
 - 木村 敏文 - 生態画像解析、動物行動解析
 - 柴崎 浩平 - 農業農村デザイン、地域連携
 - 田中 智子 - 福祉住環境計画学
 - 土川 志浩 - 建築環境、温熱環境、熱・湿気
 - 中桐 斉之 - 情報学、生態系、シミュレーション
 - 水上 優 - 建築インテリア、居住デザイン
 - 水島 靖典 - 建築構造、構造解析、衝撃問題
 - 三田村 哲哉 - 建築意匠、建築史、建築設計
 - 安枝 英俊 - 住宅・交流施設の建築計画

授業・実習紹介



環境人間学演習Ⅰ (FW)

2年前期では、フィールドワークをテーマにした演習を行います。インタビューの方法論を学んだ後、多様な教員の現場体験を元にしたフィールドワークの方法論を学びます。



環境人間学演習Ⅱ

2年後期では、「グループワーク技法」「プレゼンテーション技法」「データ統計処理技法」「コミュニケーション技法」の4技法を効果的に身につけていきます。



卒研ワークショップ

卒業研究の作成途上の段階で、学生主導のワークショップを行います。お互いの研究発表の後、研究の方向性や課題についてアドバイスし合い、より良い卒論を目指します。

授業・実習紹介



環境人間学演習Ⅰ (FW)・Ⅱ

Ⅰは自然科学と建築学の融合したフィールドワークを実施します。Ⅱは教員ごとに専門ゼミ体験のような演習を行います。二つの演習で調査や分析方法など基礎的手法の習得を目指します。



環境学実験1・2

物理・化学・生物・地学の4方面から環境データやサンプルの調査、分析、解析を行い、自然のメカニズムや環境問題の本質を理解し、保全するための多様な知識と技術の習得を目指します。



建築デザイン演習Ⅰ～Ⅷ

設計の基礎である図面、模型作成や設計理論に基づく計画案作成を行います。さらに立地特性を考慮しながら、分析、構想、製図、プレゼンを行い、総合的な建築デザイン能力を身につけます。

Pick up ゼミナール

#1 太田尚孝ゼミ



都市計画・まちづくり

ゼミ紹介動画は
こちらから



日本とドイツの都市計画・まちづくりが専門分野です。人々が住みやすく、豊かなくらしを送るための都市計画や、地域の計画システム、計画技術、プランナーのあり方等を研究しています。

#2 中嶋一憲ゼミ



環境経済学

ゼミ紹介動画は
こちらから



環境問題が経済活動に及ぼす影響について研究。環境保全と経済成長を両立するために、自然環境の経済的価値を計測しながら、将来起こり得ることやその対策について調べています。

Pick up ゼミナール

#1 伊藤雅之ゼミ



生物地球化学・陸水学

ゼミ紹介動画は
こちらから



自然環境の中での炭素や窒素などの物質循環を調査・分析。人間活動が二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの動態にどのように影響しているか、についても焦点を当てています。

#2 水上優ゼミ



建築論・建築設計

ゼミ紹介動画は
こちらから



建築論、建築設計、近代建築、フランク・ロイド・ライト等を主軸に、建築に対する課題を解決するだけでなく、常に人間と建築と環境(世界や自然)の関係を問うことをモットーにしています。

Student Voice /



社会デザイン系 4年生
堀田 風歌さん (鳥取県立鳥取西高校出身)

ゼミで主催した
「姫路城下巨大鳥瞰絵図展」
成功の鍵は
チームワーク!



鳥瞰絵図師の青山大介さんが制作された姫路の鳥瞰絵図。その魅力を多くの人に伝えるために、「超巨大に拡大展示してその上を歩いてもらう」というイベントを開催しました。

一から企画を考え、形にすることは難しく、とても大変。成功の鍵はチームワークでした。イベントの方向性や担当作業(私の担当は映像制作等)に悩んだときは、その都度メンバーで話し合い、課題を解決していきました。

いつも楽しく和やかな雰囲気のみんで作ったことで、イベント当日まで頑張ることができました。この経験を通して、チームで活動することの楽しさややりがいを実感しました。

Student Voice /



環境デザイン系 4年生
衣輪 百萌さん (愛媛県立八幡浜高等学校出身)

人と環境に寄り添った
多くの学びと挑戦が
小さな興味から
大きな夢へと繋がりました



私は幼い頃から住宅に興味があり、人と環境に寄り添った建築を学びたいと考えていました。

ゼミの活動では設計コンペに挑戦し、人と建築、そして環境との関係を考えながら、先生や友達と議論を重ね、建築への考えを深めていきました。建築が私たちが社会にどのような影響を与えることができるのかを考えることは非常に面白く、日々学んでいく中で様々な気づきを得られました。

また、コンペで受賞した経験は、将来住宅の設計をしたいという夢への自信にも繋がっています。これまでの学びや挑戦が、興味を夢へと変えるきっかけになりました。

食環境栄養課程

適切な栄養摂取は、健康の維持増進と疾病・介護予防のために重要です。
本課程では、栄養・食について専門的に学び、
人々の健康と幸福に貢献できるプロフェッショナルを育成します。
管理栄養士養成課程であり、卒業時に国家試験受験資格を得られ、
必要科目単位の修得により栄養教諭1種免許も取得できます。
以上の特徴から、系とは独立した入学試験・入学定員となっています。

- 教員一覧
- 有満 秀幸 - 微生物学、感染症学
 - 石坂 朱里 - 食品機能学
 - 伊藤 美紀子 - 臨床栄養学、代謝栄養学
 - 加藤 陽二 - 酸化ストレス、食品機能化学
 - 金子 一郎 - 分子制御栄養学、ビタミン学
 - 小村 智美 - 微生物学、抗加齢医学
 - 坂本 薫 - 調理科学、食生活科学、給食
 - 島田 良子 - 調理科学、栄養生理学
 - 田中 更紗 - 臨床栄養、代謝栄養
 - 永井 成美 - 栄養教育、栄養生理学、時間栄養
 - 中出 麻紀子 - 公衆栄養学
 - 半澤 史聡 - 栄養生化学、時間栄養学
 - 村上 明 - 食品機能学、食品化学、天然物化学
 - 吉田 優 - 臨床医学、代謝学、分析医学
 - 吉村 美紀 - 食品物性、調理科学、応用栄養学

授業・実習紹介



基礎栄養学実験

2年前期では、栄養素の代謝動態や作用機序を理解するため、生体試料を用いた実験を行い、健康増進や疾病予防における栄養管理の重要性を学びます。



栄養教育実習1

3年前期では、聴き手の心に響き、伝わるスキルを学ぶために、1人1テーマで栄養教育の指導案と教材を作り発表します。人前での話し方、教材の見せ方の工夫などを身に付けます。



ライフステージ栄養学実習

3年後期には、妊娠期、乳児期、高齢期などのライフステージの食事について、適切な栄養バランスとおいしさ、テクスチャーなどを加味した献立を作成して実習を行い、実践力を身に付けます。

Pick up ゼミナール

#1 吉村美紀ゼミ

食品プロセス
科学/
食品物性



ゼミ紹介動画は
こちらから



食品のテクスチャーや高齢者・幼児の食環境の改善を目指して、機能改善を図る食品プロセスの開発・研究に取り組んでいます。物性と嗜好性の両面から、基礎研究と応用研究を進めています。

#2 加藤陽二ゼミ

食品機能



ゼミ紹介動画は
こちらから



病気を予防する食品の機能性について研究。疾病や老化に対して毎日の食事の中から得られるような成分が、どのような予防効果を示すのかを解明しようとしています。

Student Voice 1



食環境栄養課程 4年生
森田 智里さん (香川県立丸亀高等学校出身)

大学での実習を
通して見つけた、
食を通して
人を幸せにする夢



入学前は、学校給食を作る栄養士になるのが夢でした。しかし、大学での授業や実習を通して、一人一人に寄り添い、その人の健康と幸せにつながる食の提案や栄養管理ができる管理栄養士になること、また学校で給食の運営と食育を行う栄養教諭になることが、私の新たな夢になりました。

卒業研究では、実習先の小学校で目にした「黙食」に問題意識を持ち、黙食中に児童が楽しく食について学べるよう、現状の調査や教材研究・開発を行っています。

この大学に来て、新しい夢を見つけ、児童のための研究ができて本当に良かったと思っています。

プレゼン準備の過程にも
学びがたくさん!



学生による

プレゼンテーションイベント

初めてのオンライン開催は、
下級生のモチベーションアップにもつながりました



3、4年生が専門ゼミナールや卒業研究として取り組んだ研究の成果を発表したり、地域貢献を実践している学生団体が活動実績を報告したり、あるいは、学生が個人として取り組んだ活動を発表したりしています。多数の前でプレゼンテーションするのは緊張しますが、準備の過程も含めて多くの学びを得ることができました。

コロナ前までは、講堂でポスター発表の形式で開催

してきましたが、2021年度は初めての試みとして、24の団体・個人がプレゼンテーションをスタジオで事前に撮影し、そのうち12本の動画を開催当日、100人が集まる大教室で放映するとともに、オンライン配信を行いました。質疑応答では活発な議論が行われました。動画を視聴した1、2年生は先輩たちの活動やプレゼンのレベルの高さに驚き、自分たちも来年、この場で発表したいと感想を述べていました。



Special
Feature

環境人間学フォーラム

毎年秋、学生によるプレゼンテーションイベント「環境人間学フォーラム」を開催しています。

地域と連携した実践的な学び

地域の方々と連携して実際に課題を解決するための取組みを実践しています。

学部設置されている二つのセンターはそのための拠点であり、「くらし×らしさ」のデザインプロジェクトは課題解決推進のためのプラットフォームです。学生はこれらに関わることを通して実践力を身につけていきます。

エコ・ヒューマン地域連携センター Eco Human Community Cooperation Center (EHC)



ホームページは
こちらから



エコ・ヒューマン地域連携センター(略称:EHC)では、環境人間学部の学生・教員による地域連携活動を推進しています。地域連携活動とは、地域に関わる様々なアクター(住民、行政、NPO、企業、専門家など)と学生・教員が連携し、地域課題解決の新しいかたちを生みだすことなみのことです。その活動に参加することを通して、大学における教育と研究の充実も図っています。大学の資源(知識・技術・マンパワー)を活かし、地域の課題解決や価値の創造に挑戦することで、大学と地域の相互発展を目指しています。

「くらし×らしさ」のデザインプロジェクト



分野を越えて地域に向き合うプロジェクト活動

地域は人口減少や少子高齢化、自然の荒廃など、様々な課題を抱えています。これらの課題は相互に入り組んでおり、一つの専門だけで解決することは困難です。環境人間学部では多様な分野の教員が所属している強みを生かし、複数の教員が連携して、複雑な課題の解決に地域の方々とともに取り組んでいます。「多様性・学際的視点からの地域支援とその知財化—コロナ禍でのくらし×らしさのデザインプロジェクト」は教員、学生そして地域の方々とつくる課題解決のプラットフォームであり、そこから様々な取り組みが生まれています。

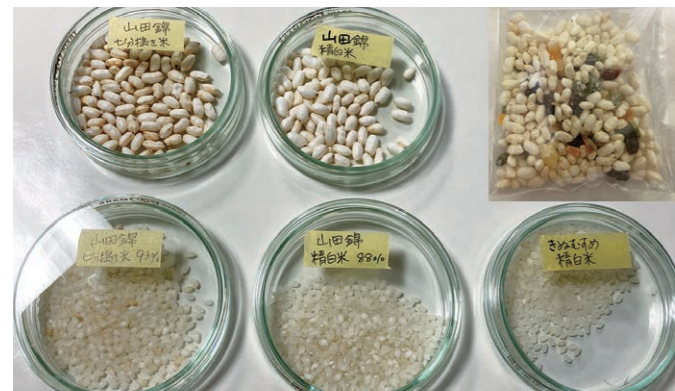
— Case Studies —

コロナ禍におけるいのちの電話相談活動の意義と課題 — 井上靖子



コロナ禍の日本の自殺率(2020)は先進7ヶ国で最も高く、女性や10代から20代の若者、著名人の自殺報道の影響を受けた自殺者の割合の上昇という特徴がみられました。これらの事態の危機介入としてのいのちの電話相談があります。電話相談は相談員のボランティア活動で支えられています。事例検討会では希死念慮からの回復事例も報告され、人と繋がれる電話相談の意義は大きいです。高齢化による担い手不足、相談員の支え合いの場が必要ななどの課題が明らかとなりました。

先端食科学研究センター Research Institute for Food and Nutritional Sciences (RIFNS)



本センターでは、食・栄養・健康を基軸とした基礎的および先端的な研究を推進すると共に、これらの研究成果を礎に、独創的で先駆的な視点で「食を取り巻く未来をデザインする」ことを目指しています。主に以下の4事業を行っています。

— Case Studies —



兵庫県大学の「次世代研究プロジェクト」に採択され、兵庫県産の野菜・果物・香辛料などの成分分析、物性、機能性に関する研究を実施。物質・生命科学研究科/SPring-8や兵庫県立健康科学研究所とも連携しています。



姫路野里地区のフェノロジーカレンダーとデジタルゲームの試作 — 土川忠浩



姫路市野里地区は、世界文化遺産で国宝姫路城の北東にある旧城下町で、町家や神社仏閣などの歴史的資源が現存しています。この地域の魅力を広く伝えるために、地元の意見を参考に、学生が生活季節暦(フェノロジーカレンダー)と、ご当地デジタルゲーム(RPG)を試作しました。生活季節暦では1年間の気象変化、草花、地域行事などをポスターのように表現しました。また、ゲームは野里地区の伝承である「お夏清十郎」をテーマに制作しました。

おうち時間応援冊子『KANKYOSTYLE』の作成 — 太田尚孝



コロナ禍により、一人暮らしや自室で過ごす時間が増える中で、おうち時間をより快適に、より楽しくするためのヒントを学生目線で『KANKYOSTYLE』としてまとめました。都市計画研究室の3年生5名が、県立大学生協や地元のデザイン会社(夕雲舎)とコラボし、主体的に企画・取材・レイアウトを担当しました。これを見れば、リアルな環境人間学部生のライフスタイルや暮らしがわかるかも?

播磨地域の「伝統食材」を知る — 坂本 薫



播磨地域には伝統的な料理や食材が豊富にありますが、若い人には伝わっていない現実があります。これらを学生に伝えるため、キャンパス内の畑で兵庫の在来種の野菜(そら豆、しょうがなど)について地域の方から学び、栽培したユウガオの実を収穫して、かんぴょう作りを体験しました。これらを味噌汁やスープに入れたり、チップス、野菜炒めなどの方法で食べ、参加学生から「食文化を途絶えさせずに伝えていくことの重要性を学んだ」等の感想が聞かれました。

- 1 基礎及び先端研究プロジェクトの企画、推進
- 2 地域の企業等との連携、共同研究の推進
- 3 地域の食材を活かした県立大学オリジナルブランド商品事業化の推進
- 4 海外連携・国際的な研究の推進

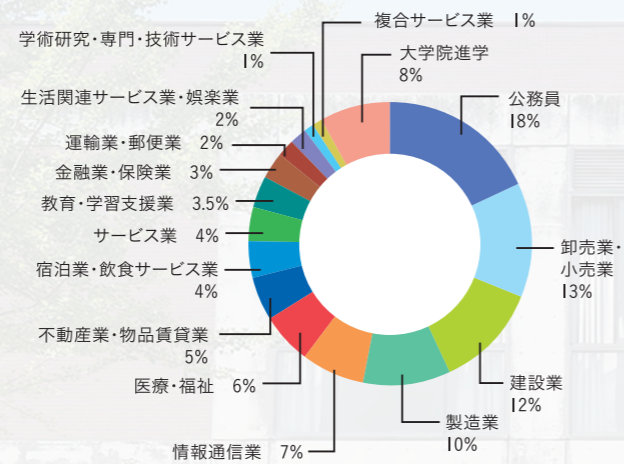
就職率



環境人間学部は文理融合の学部であることから、就職先は卸・小売、建設、製造、情報通信など多岐にわたっており、事務職から技術職まで様々な分野で就職しています。2021年度就職率(就職者(内定者)/就職希望者)は97.9%でした。兵庫県庁や市役所など公務員が18%と一番多いのも特徴です。

コロナ禍であっても、オンラインツールを積極的に活用しながら適切に情報収集と対策を行い、建築や栄養などの専門性も活かして活躍の場を得る学生もいるなど、全国平均よりも高い就職率を保ちました。

職種内訳・大学院進学



主な就職・進学先

- 建設業**
竹中工務店 / 積水ハウス / 大和ハウス工業 / 旭化成ホームズ / 旭化成リフォーム / 住友林業 / セキスイハイム山陽 / ヴェル・ハウジング / ナテックス
- 製造業**
キュービー / 富士食品工業 / プライムデリカ / クリニコ / ワコール / LIXIL / 能美防災 / 城東テクノ
- 情報通信業**
日本電気通信システム / NEC ネットエスアイ / 両備システムズ / NTT ドコモ / TKC / ナノコネク
- 運輸業・郵便業**
中国バス / 岡山県貨物運送 / SBS ロジコム / 関西丸和ロジスティクス
- 卸売業・小売業**
ニトリホールディングス / フルサトグループ / ヘルーナ / 淡路観光開発公社 / イオンリテール / ナフコ / カインズ / ラルフローレン / テレビ東京ダイレクト / コカラファイングループ
- 金融業・保険業**
姫路信用金庫 / 神戸信用金庫 / 日本生命保険相互会社 / 全国農業協同組合連合会 (JA全農) 兵庫県本部
- 不動産業・物品賃貸業**
長谷工コミュニティ / 和田興産 / エスリード / 大阪府住宅供給公社 / NTT アーバンバリューサポート / 大和リース
- 宿泊業・飲食サービス業**
ホテルモントレ / 星野リゾート / エムサービス / グリーンハウス / サイゼリヤ

- 生活関連サービス業・娯楽業**
クラブツーリズム / アドベンチャー / ファクトリージャングル
- 医療・福祉**
近畿大病院 / 社会医療法人松蔭会入江病院 / SONPO ケア / 神戸老人ホーム / パナソニック健康保険組合 / 生活協同組合ヘルスコープおおさか
- 複合サービス事業**
生活協同組合コープこうべ
- サービス業**
トライトキャリア / 三州足助公社 / 日研トータルソーシング
- 学術研究・専門技術サービス業**
徳岡設計 / レジスタ XI / アウトソーシングテクノロジー
- 教育・学習支援業**
国立大学法人滋賀医科大学 / 日本入試センター / 学校法人大阪YMCA / 神戸市教育委員会(臨時講師) / たつの市教育委員会(臨時講師)
- 公務員**
国土交通省近畿地方整備局 / 大阪国税局 / 名古屋国税局 / 大阪労働局 / 国立民族学博物館 / 兵庫県庁 / 兵庫県庁(建築職) / 神戸市役所 / 姫路市役所 / 明石市役所 / 加古川市役所 / 加古川市役所(栄養士職) / 西脇市役所 / たつの市役所 / 岡山市役所(建築職) / 箕面市役所(建築職) / 兵庫県警察本部 / 神戸市消防局
- 進学**
兵庫県立大学大学院 / 京都大学大学院 / 大阪公立大学大学院 / 兵庫教育大学大学院

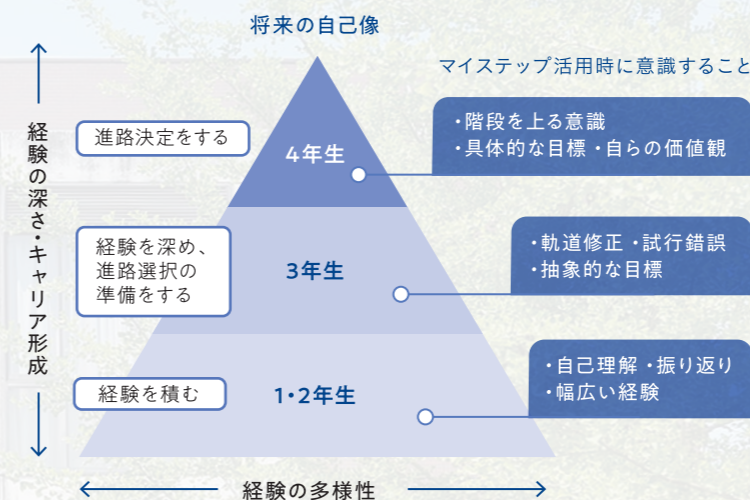
取得できる資格

下記のような免許、資格を取得することができます。

教員免許	● 高等学校教諭I種(保健体育) ● 中学校教諭I種(保健体育) ● 栄養教諭I種 ^{*1*} 3
他の国家資格等	● 栄養士 ^{*1}
	● 一級建築士 ^{*2} ● 二級建築士 ^{*3} ● 管理栄養士 ^{*1}

※1 食環境栄養課程のみ。 ※2 受験資格を取得するためには必要単位数の指定科目を履修して卒業する必要があります。免許登録には2年間の実務経験が必要です。 ※3 必要単位数の指定科目を履修して卒業する必要があります。

キャリア教育



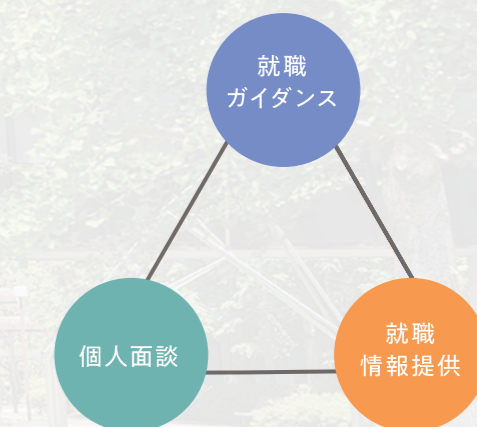
環境人間学部では、学生が自身の価値観をもとに、心から納得して進路先を選べるようになることを目標に様々な支援を行っています。

各学年で段階的に幅広い経験を積み、その経験をキャリア形成に活かすためには、行動を記録し振り返りを行うことが大切です。記録の方法は、メモや手帳の活用・写真に残す・SNSの利用などが考えられますが、『書き記す』ことが有効です。

学内システム「ユニバーサルパスポート」には学びの過程や経験を見える化する「マイステップ」という機能があります。これは、自分の掲げた目標や行動計画、振り返りの内容をWEB上に記録しておくことができるシステムです。

就職支援

- 就職ガイダンス**
2年生から参加の機会を設け、3年生の前期から本格的に、年間約10回にわたって就職活動に関する様々な情報や進め方を伝えています。就職活動に関わる講義のほか、面接対応などの実践講座も行っています。
- 就職情報提供**
キャリアセンターにて、先輩の試験報告書や進路先データ、求人票などが閲覧できます。また、センター前に就職情報を掲示し、ユニバーサルパスポートでもタイムリーな情報を掲載しています。
- 個人面談**
学生一人一人に丁寧に向き合い、個人の持つ悩みに寄り添った形で進めています(オンラインにも対応)。キャリアセンター窓口での気軽な相談や電話・メールも受け付けています。



キャンパスキャリアセンター

キャンパスキャリアセンターは、姫路環境人間キャンパス内に専門職員と部屋を配置しています。就職ガイダンスの実施、就職情報提供、個人面談以外にも、エントリーシートの添削等、環境人間学部の学生に寄り添ったキャリア形成支援を行っています。

- 利用時間** (窓口)9:00~17:00 (相談)10:00~16:00 (月~金・土日祝は休み)
- 場所** 環境人間キャンパス情報教育棟(A棟)1階 A105
- 利用方法** 相談は予約優先
(①キャリアセンター窓口予約 ②電話予約 ③メール予約)
- 職員** 2名(キャリアコーディネーター1名、事務職員1名)



— Next Stage —

環境人間学部での学びを、社会で活かす

環境人間学部の卒業生は公務員や教員、民間企業や研究職など、様々な領域で活躍しています。

大学時代の学びをその後の人生や実社会でどう活かしているのか、卒業生の多様な声の一端をご紹介します。

国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科 在学中

さまざまな人の「こころ」を知り、 自分の目指す道を見つけることができました

私は井上靖子教授の研究室に所属し、臨床心理学を学びました。3年生のとき、ゼミのメンバー5人と共に「新型コロナウイルス(Covid-19)影響下における大学生のメンタルヘルスの現状と課題」というテーマで兵庫県立大学「知の交流シンポジウム」で発表し、優秀賞を受賞しました。

卒業研究では「不登校経験の意味づけについての研究」というテーマで、不登校経験を持

つ社会人の方にインタビュー調査を行いました。その他にも、夢分析や箱庭療法の実践を行うなど、人の「こころ」について学びを深めることができ、さらには、自分の興味関心を探求する力を付けることができましたと感じています。

そして、仕事としても人の「こころ」に寄り添うことがしたいと思うようになり、現在は言語聴覚士を目指して養成校で日々勉学に励んでいます。



人間形成系 2022年卒
北村 果林

たつの市役所 勤務

幅広い知識と多様な人々との ディスカッションの経験が今に生きています

私は、固定資産税を課税する部署に配属されています。市民の疑問や問題に適切な対応をするために苦慮することもあります。日々成長を実感できるのでやりがいのある仕事です。

環境人間学部では、多種多様な分野を研究できることに加え、多くの講義でグループディスカッションを取り入れている点も特徴です。幅広い知識を得ることにより、物事を多角的に

捉え、問題を解決に導く力が身につく、また様々な人々との意見交換によってコミュニケーション能力も向上したと思います。これらの能力を身につけることができたからこそ、市民サービスに貢献できていると実感しています。

高校生の皆さんも様々な分野を学び、様々な人々と出会える環境人間学部で多くの能力を身につけてください。



国際教養コース 2020年卒
伊佐見 友宏

株式会社ジーユー 勤務

幅広い学問とフィールドワークにより、 社会で活躍する為の現場力を身につけられました。

私は現在、株式会社ジーユーで店長として勤務しております。地域のお客様にブランドを愛していただけるよう、地域を知り、お客様を知る努力をしています。

在学中は「社会貢献」に興味を持ち、講義やゼミ活動を通して、学びを深めてきました。本学では幅広い分野を学べ、講義だけでなくフィールドワークが豊富で、実社会でも通用する現場力が身につきました。

昨今の社会の変化は早く大きいもので、地域の課題は多様化、複雑化しています。現場(地域)にいくと講義だけでは分からない、課題が見えてくるが多かったです。実際に現場の声を聞き、現場の方と一緒に考えること、多様な視点から考えることが課題解決に向けて非常に大切であると学ばせていただきました。この事は社会に出て、変わらず、現在の仕事に活かしていると感じています。



環境共生社会コース 2019年卒
宮本 祐輔

株式会社黒田建築設計事務所 建築設計部 勤務

目の前の課題に向き合った時間が、 将来の自分の強さになります

本学部の設計演習では、敷地の読解、設計、図面作成、模型制作、発表、次につながるフィードバックを行います。卒業設計制作は何度も挫折しそうになりましたが、仲間や先生と話し合いを重ね、集大成となる作品をつくることができました。設計にとことん向き合った期間は、私の強みであり、家族より長い時間を一緒に過ごしたゼミ仲間との日々は私の宝物です。

現在は設計事務所に勤務しています。意匠

設計は、計画から監理まで多岐に渡り、私は1年目に小学校の基本計画を担当しました。実務では、法規や社会情勢、クライアントの意見等、より複雑な条件の中で計画を進めることになります。しかし、設計の基本は変わらず、学生時代の設計と向き合い考えをかたちにしていく力が今に生きています。みなさんも自分の強み・自信を環境人間学部で得られることを願っています。



環境デザインコース 2021年卒
松本 萌々

兵庫県立西宮病院 栄養管理部 勤務

大学で学んだコミュニケーション能力と行動力が 現在の業務に繋がっています

私は病院で管理栄養士として勤務しています。現在は医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等から構成される栄養サポートチームの一員として、患者さんの栄養管理を行っています。

大学では様々な分野の講義を履修し、その中で最も臨床の分野に興味を持ちました。実験や実習では、周りとのコミュニケーションをとりながら、自分で考え行動する場面が多かったです。そのような経験が、他職種と協力しながら栄養管

理を行う現在の業務にも繋がっていると思います。

ゼミでは糖尿病や透析について研究を行っていたため、エネルギーや塩分などの「制限」について考えることが多かったのですが、食べられない患者さんの栄養サポートをすることも管理栄養士として重要な役割だということを実感しています。

皆さんが楽しく充実した大学生活を送れることを願っています。



食環境栄養課程 2016年卒
内山 友絵

大学院環境人間学研究科

人と環境のあり方を考え、社会のニーズに応える高度な専門知識と問題発見能力を備えた人材を育成するために、学部卒業後の進路として、大学院環境人間学研究科(博士前期課程・博士後期課程)を設置しています。本研究科では、「人間科学・文化」から「先端医療工学」の7つの専門分野を学ぶことができます。

履修モデル/研究拠点

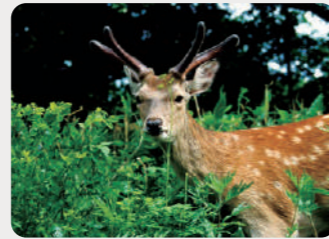
専門分野の内容に即して、学びの拠点を県内4か所に展開しています。学生は、それぞれの学びたい分野に合った地域で学びを深めていくことができます。

A 人間科学・文化



生涯にわたる人の育ちや心身の健康への理解を深めること、また言語や文化の視点から日本や世界を多角的に捉えることで、より望ましい人間の生き方とは何かについて学術的に考究。

B 共生博物

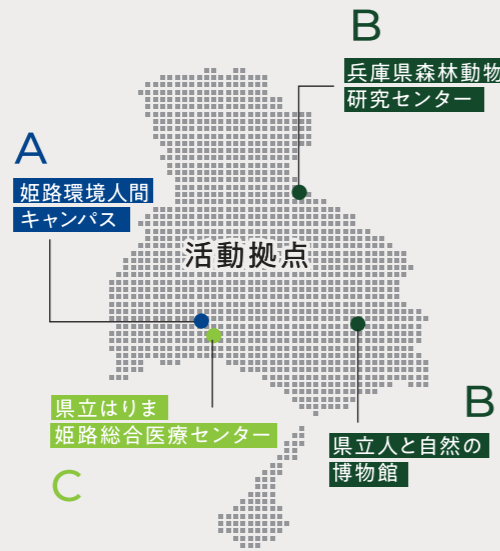


生物多様性の保全と持続的利用の観点から、望ましい人と自然の関係構築を考究し、実践。下記の「博物館」「センター」の研究施設を活用し、身近な自然をフィールドとして実践的に研究。

A 公共政策



公共政策分野における研究・実践を担える人材育成を目指し、社会科学の知見や方法論をベースに、都市・農村計画学等を組み合わせた学際的研究。



C 先端医療工学 NEW



健康、栄養、医療、看護に関する諸問題の解決に資する専門知識と技術を幅広い視点から修得し、人々の健康と生活の質向上を目指した社会への提言につながる能力を身につけた人材を育成。

A 建築・都市



環境と人間の暮らしとの関係を探求することで、建築環境、建築構造、建築設計、インテリア計画、住宅計画、建築計画、都市計画といった建築に関わる専門家を育成。

A 自然・環境



自然環境(地圏・水圏・大気圏・生物圏)中の諸現象の解明を目指し、フィールド観測や環境計測、情報処理技術をベースとしたデータ採取、解析手法を習得。

A 食環境栄養



科学的思考力と実践力を持ち、人々の食と健康に関わる場(医療・福祉・行政・教育・企業・研究機関など)で活躍する「食と健康に関するプロフェッショナル」の育成を目指す。

さらなるステップアップへ

進学後は、7つの専門分野のうちの一つを選び科目を履修していきながら、各自の研究を進めていきます。

学部(4年)	大学院研究科
学士 入学定員200名	博士前期課程(2年) 修士 入学定員30名
	博士後期課程(3年) 博士 入学定員5名

大学院では、社会人や留学生も多数在籍し、徹底した少人数教育と高度な学術研究を日々行っています。また、先端医療工学研究所(県立はりま姫路総合医療センター内設置)が開講する大学院科目も履修できます。健康科学、医療工学、デジタルヘルスなど分野横断型の共通科目が履修できるとともに、医療センターと連携した研究活動を行うことができます。

- Graduate Students -

人間科学・文化

「地域スポーツ」の場から、世代間交流と健康の関係を探る。



博士前期課程(社会人院生)
西山 慎也

紹介ページは
コチラから



公共政策

政治・行政をもっと身近なスケールで。



博士前期課程修了
花谷 和志

紹介ページは
コチラから



建築・都市

人の暮らしを良くする建築とは? ー私の6年の軌跡



博士前期課程修了
焔和 由紀子

紹介ページは
コチラから



自然・環境

身近にあるため池が温室効果ガスの溜まり場!?



博士前期課程
河内 丈太郎

紹介ページは
コチラから



食環境栄養

行政機関の栄養士として、住民の健康生活を支える。



博士前期課程修了
寺井 睦

紹介ページは
コチラから



共生博物

目の前の「被害」から目をそらさずに地域の人たちと一緒に悩み、妥協点を探る。



博士前期課程
田島 菜々子

紹介ページは
コチラから



教えてセンパイ! What's in your bag? in 環境人間学部



食環境栄養課程の 1回生 01

#淡色フレンチガール

おしゃれ・ご飯・推しは 生活の必須要素

美味しいご飯が好きで、食環境に進学しました!入学してからは毎日お弁当を手作りするようにして、今使っているお弁当箱はおかずが詰めやすく気に入っています。淡い色のかわいらしいモチーフのものが好きなので持ち物は全体的にそういった系統でそろえています。服装はフレンチガールが好きなのでこういった服装で来ることが多いです。リュックについているチェキケースには好きなアイドルのチェキが入ってます!ライブに行ったときに一緒に撮ってもらった思い出の品です(笑)

(F・Gさん)

大学生のカバンの中身が気になる…。パソコンってどんなの使ってるんだろ? そんな疑問にお答えするために、4人の学生にインタビューしてみました! 大学生活に欠かせないアイテムの紹介やファッションスタイルなど、大学生のリアルに密着したページになっているのでぜひ参考にしてみてくださいね。



キャンパスに通う 3年生が 企画編集を担当!

デザイン / 一原
イラスト / 黒阪・山口
テキスト / 河田・藤本
(社会デザイン系・井関ゼミ)

サッカーサークルに 所属する2回生 03

#アクティブサッカー男子

講義・サークル・バイト… 忙しいけど充実した学校生活!

サッカーサークルに所属しているの、サークルのある日は着替えやタオル、制汗剤、スパイクを持ち歩いています。サークルの後はラーメン屋でのバイトがあるので、着替えと制汗剤は欠かせません。パソコンや着替えなど、どうしても荷物が多くなってしまいますので大きなリュックを使っています。僕は下宿をしているのですが、バイト後に友達が遊びに来ることも多くて。講義開始ギリギリに起きて、服を迷っている時間もないのですぐにコーデが決まるセットアップを愛用しています。その代わりに、余った時間で髪の毛をいい感じに整えています(笑)

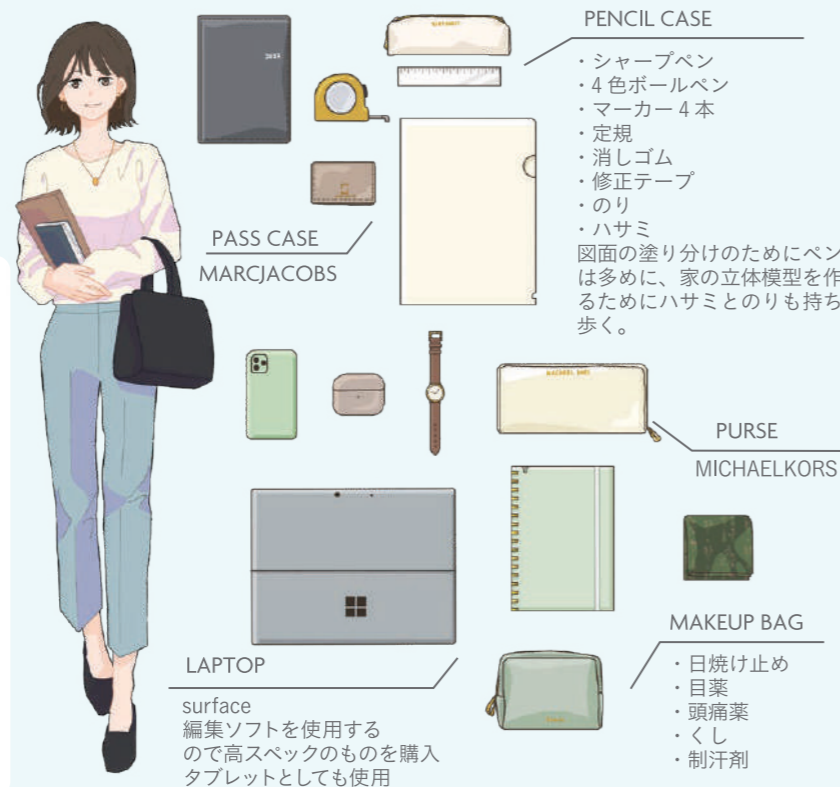
(S・Sさん)

02 環境デザイン系の 3回生

#清楚系シンプリスト

インターンと講義を 両立しながらスキルアップ

環境デザイン系で建築について学び、今は建築業界の長期インターンに参加しています。午前中に出勤してから午後は学校で講義を受けるというスケジュールなので、服装は基本オフィスカジュアルを意識していることが多いです。同じく、持ち物もシンプルな系統で揃えています。欠かせないアイテムはスケジュール帳とメモを取るためのノート。インターンで教わったことはとりあえず全てメモして後でまとめ直すので、たくさん書けるようメモ帳ではなくノートを使っています。講義では、設計図を書くためにメジャーと定規も必須です。(I・Sさん)



04 RREP*に 参加している2回生

#スタイリッシュミニマリスト

デバイスを活用して コンパクトなスタイルに

授業が午後からなので、朝のうちにカフェに行って、資格の勉強や副専攻RREP*の課題に取り組むようにしています。そのときにパソコンやタブレットをよく使うので、ブルーライトカットのメガネは常にカバンに入れてあります。資料やノートを持ち歩く手間が省けるので、タブレットは買ってよかったな、と思っています。とにかく荷物が雑多になるのが嫌で…(笑)持ち歩く物は少なくしていますが、グミや飴は気軽に食べられるのでカバンに入っていることが多いです。(A・Kさん)

* RREP…地域創生人材教育プログラム

